

# 全自交労連

## 夏季労働セミナー

乗務員の労働条件を大きく改善させ、若年層からも魅力ある産業に変えていかなければならない！

2014年7月15、16日、伊東市のホテル聚楽にて全自交労連 2014年夏季労働セミナーが開催されました。

主催者挨拶では、伊藤 実中央執行委員長が、「今、国会において安倍政権が、憲法第9条をめぐる集団的自衛権行使容認を一内閣の解釈変更で国民議論を置き去りにし、強引に押し進めようとしています。この暴挙に対しては市民運動、労働運動の垣根なく国民すべての声を集結し、現政権のやり方に対して意見を訴えていかなければなりません。この様な政権には頼らず、連合をはじめ、労働者を代表する我々が声を上げて行かなければなりません。1月27日にタクシー関連3法が施行されました。産業再生・労働環境改善に向けて実効性あるものとするために、乗務員の労働条件を大きく改善させ、若年層からも魅力ある産業に変えていかなければなりません」と述べました。

続いて、全自交労連の顧問弁護士である宮里邦雄氏より、「労働法規制の必要性と意義」の講演、国交省 佐々木調整官より「タクシーサービス向上、安心利用」推進法についての講演を受けました。

全自交労連夏季セミナーの途中で、全自交労連第91回中央委員会を実施しました。中央委員会の詳細は下記の通りです。

来賓挨拶する  
坂本 貴男  
全タク連本部長(右)



講演する  
宮里 邦雄弁護士  
(下右)  
佐々木 国交省調整官  
(下左)



# 全自交労連 第91回中央委員会

2014年7月16日、伊東市のホテル聚楽にて全自交労連 第91回中央委員会が開催されました。

議題は、  
第1号議案

東洋交通労働組合の全自交労連加盟に

ついて

第2号議案 ライオン交通労働組合の全自交

労連加盟について

第3号議案 三和交通労働組合の全自交

労連加盟について

資格審査委員長より、執行役員の数31名に対し、出席30名、委任状1名、中央委員の定数61名に対し、出席57名、委任状4名、定数の三分の二を超えているため、中央委員会が成立していると報告がありました。1〜3号議案に対する一括質疑、執行部の答弁が予定されておりましたが、質疑はなく、満場一致で承認されました。

その後、各労組の代表よりご挨拶があり、菊池執行委員長は次のように述べました。「はじめまして。東洋交通労働組合の執行委員長を仰せつかっております菊池のみと申します。よろしくお願ひします。

今回、全自交の加盟に至るまでは、委員長単組で39年間東京ハイタク労連という組織の運動と運営を支えてきました。前委員長の田島が亡くなり、1年10カ月の間、当時委員長代行として今井氏がつとめてきましたが、その間の運営方法の違いもあり、物を申して参りましたがうまくいきませんでした。

39年間続けてきた組織を脱退するという一大決議でございます。これを組合員に承認して頂き、そして全国組織の全自交への加盟を同じ日に決めました。それもやはり政策闘争は東京が中心になって行っていくべきだと、亡くなった田島も常々申しておりました。私達も法律に関わることは、全国組織への加盟、そこから声をあげる、それが労働組合の務めであると皆を説得して参りました。1年10カ月、委員長代行を勤めて参りまし

全自交労連 第91回中央委員会にて「東洋交通労働組合の正式加盟」が満場一致で承認されました。



中央委員会での承認後に、伊藤実中央執行委員長から組合旗を受け取る「菊池委員長」



続いて、ライオン交通労働組合の大松啓治執行委員長の挨拶、三和交通労働組合の岡田鈴次副執行委員長の挨拶がありました。

だが、470名ほどの組合員の支えがあり、ここまでやってこられました。いくつかの労働条件の改善が去年、今年と勝ち取れた経緯もあり、それなりに信頼も得られました。今後は全国の仲間の為に、声をあげていきたい。それを政治の中心である東京の産別組織である東京地連が責任をもって政策闘争を押し進めて行く、そのお手伝いをさせて頂きたい。全自交への加盟を決めました。今後とも宜しくお願ひ致します」と述べました。

東洋交通労働組合の組合員から集めた、「義援金」を岩手の仲間のために！



義援金を岩手地本「森委員長」に直接手渡す、菊池委員長

最後に、東洋交通労働組合より、震災後に組合員の皆様から頂いた義援金を、去年までは赤十字を通じてお送りしていましたが、今年からは直接お渡しするということとなり、全自交岩手地方本部の委員長、森 茂氏に菊池執行委員長より220,509円を贈呈致しました。



ライオン交通、三和交通、東洋交通の新たな3単組が加わり意気上がる「全自交労連」